

運用報告書 (全体版)

米国ハイールド債券ファンド 米ドルコース

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2009年10月30日から2024年10月15日までです。	
運用方針	米ドル建てのハイールド債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	米国ハイールド債券ファンド米ドルコース	円建ての外国投資信託である「L A U S ハイールド債券ファンド (米ドルクラス)」受益証券 (外国投資信託 (米ドルクラス) とも言います。) および円建ての国内籍の投資信託である「M H A M 短期金融資産マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	L A U S ハイールド債券ファンド (米ドルクラス)	主として米ドル建てのハイールド債を主要投資対象とします。
	M H A M 短期金融資産マザーファンド	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	外国投資信託 (米ドルクラス) への投資を中心にを行います。外国投資信託 (米ドルクラス) では、保有資産に対し、原則として、為替取引 (為替管理) は行いません。	
組入制限	米国ハイールド債券ファンド米ドルコース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。
	L A U S ハイールド債券ファンド (米ドルクラス)	流動性の乏しい資産へ投資する場合は、価格の透明性を確保する方法が取られているものとし、その投資割合は純資産総額の15%以下とします。デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。
	M H A M 短期金融資産マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。株式への投資は行いません。
分配方針	第3期以降の毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

第151期	<決算日	2022年5月12日>
第152期	<決算日	2022年6月13日>
第153期	<決算日	2022年7月12日>
第154期	<決算日	2022年8月12日>
第155期	<決算日	2022年9月12日>
第156期	<決算日	2022年10月12日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「米国ハイールド債券ファンド 米ドルコース」は、2022年10月12日に第156期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

米国ハイイールド債券ファンド 米ドルコース

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託受益証券組入比率	債券組入比率	純資産額
		(分配落)	税金分配	み入金騰落			
		円	円	%	%	%	百万円
第22作成期	127期 (2020年5月12日)	5,533	35	2.7	99.0	0.1	6,044
	128期 (2020年6月12日)	5,761	35	4.8	98.8	0.1	6,263
	129期 (2020年7月13日)	5,792	35	1.1	100.2	0.1	6,210
	130期 (2020年8月12日)	6,002	35	4.2	99.2	0.1	6,284
	131期 (2020年9月14日)	5,979	35	0.2	99.8	0.1	6,065
	132期 (2020年10月12日)	5,986	35	0.7	99.7	0.1	5,977
第23作成期	133期 (2020年11月12日)	6,042	35	1.5	99.6	0.1	5,848
	134期 (2020年12月14日)	6,060	35	0.9	99.7	0.1	5,653
	135期 (2021年1月12日)	6,104	35	1.3	99.2	0.1	5,560
	136期 (2021年2月12日)	6,204	35	2.2	99.0	0.1	5,446
	137期 (2021年3月12日)	6,309	35	2.3	99.7	0.1	5,440
	138期 (2021年4月12日)	6,389	35	1.8	99.1	0.1	5,387
第24作成期	139期 (2021年5月12日)	6,310	35	△0.7	99.8	0.1	5,169
	140期 (2021年6月14日)	6,427	35	2.4	98.8	0.1	5,187
	141期 (2021年7月12日)	6,458	35	1.0	99.8	0.1	5,103
	142期 (2021年8月12日)	6,406	35	△0.3	99.7	0.1	4,951
	143期 (2021年9月13日)	6,423	35	0.8	99.4	0.1	4,879
	144期 (2021年10月12日)	6,462	35	1.2	98.7	0.0	4,814
第25作成期	145期 (2021年11月12日)	6,605	35	2.8	99.4	0.0	4,867
	146期 (2021年12月13日)	6,461	35	△1.7	99.5	0.0	4,702
	147期 (2022年1月12日)	6,514	35	1.4	98.7	0.0	4,658
	148期 (2022年2月14日)	6,342	35	△2.1	99.1	0.0	4,524
	149期 (2022年3月14日)	6,202	35	△1.7	99.1	0.0	4,321
	150期 (2022年4月12日)	6,520	35	5.7	98.7	0.0	4,500
第26作成期	151期 (2022年5月12日)	6,472	35	△0.2	98.1	0.0	4,458
	152期 (2022年6月13日)	6,604	35	2.6	98.9	0.0	4,292
	153期 (2022年7月12日)	6,480	35	△1.3	99.0	0.0	4,209
	154期 (2022年8月12日)	6,520	35	1.2	98.7	0.0	4,231
	155期 (2022年9月12日)	6,809	35	5.0	99.3	0.0	4,371
	156期 (2022年10月12日)	6,614	35	△2.3	98.0	0.0	4,306

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注5) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率		
第151期	(期 首) 2022年 4 月12日	6,520	—	98.7	0.0
	4 月末	6,583	1.0	98.3	0.0
	(期 末) 2022年 5 月12日	6,507	△0.2	98.1	0.0
第152期	(期 首) 2022年 5 月12日	6,472	—	98.1	0.0
	5 月末	6,434	△0.6	98.7	0.0
	(期 末) 2022年 6 月13日	6,639	2.6	98.9	0.0
第153期	(期 首) 2022年 6 月13日	6,604	—	98.9	0.0
	6 月末	6,447	△2.4	98.3	0.0
	(期 末) 2022年 7 月12日	6,515	△1.3	99.0	0.0
第154期	(期 首) 2022年 7 月12日	6,480	—	99.0	0.0
	7 月末	6,538	0.9	98.5	0.0
	(期 末) 2022年 8 月12日	6,555	1.2	98.7	0.0
第155期	(期 首) 2022年 8 月12日	6,520	—	98.7	0.0
	8 月末	6,646	1.9	98.3	0.0
	(期 末) 2022年 9 月12日	6,844	5.0	99.3	0.0
第156期	(期 首) 2022年 9 月12日	6,809	—	99.3	0.0
	9 月末	6,540	△4.0	97.8	0.0
	(期 末) 2022年10月12日	6,649	△2.3	98.0	0.0

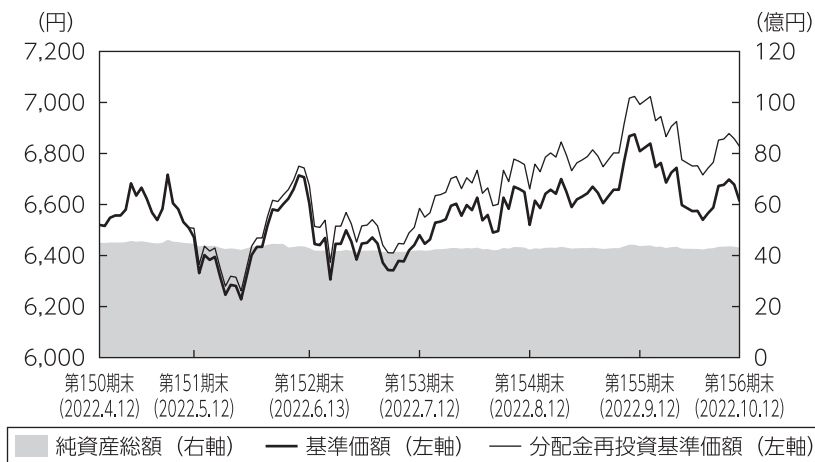
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第151期～第156期の運用経過（2022年4月13日から2022年10月12日まで）

基準価額等の推移



第151期首： 6,520円
第156期末： 6,614円
(既払分配金210円)
騰落率： 4.7%
(分配金再投資ベース)

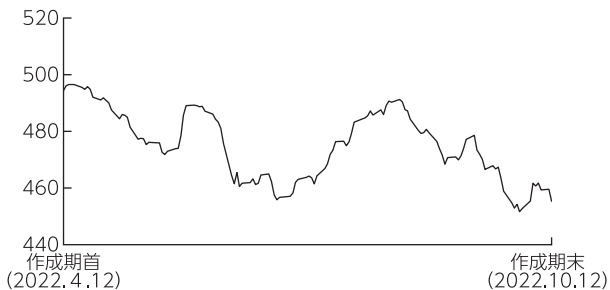
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

主に、「L A U Sハイイールドボンドファンド (米ドルクラス)」受益証券への投資を通じて、米国のハイイールド債券に投資を行った結果、市況が下落したものの、米ドルが対円で上昇したことなどから、基準価額 (税引前分配金再投資ベース) は上昇しました。

投資環境

<米国ハイイールド債市場の推移>

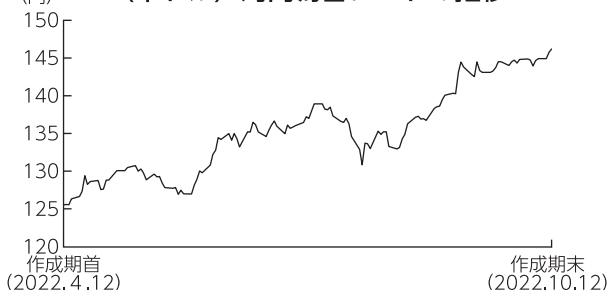


- (注1) 当グラフは、ICE BofA・US・キャッシュ・ペイ・ハイイールド・コンストレインド・インデックス（米ドルベース）の前営業日の値を用いております。
- (注2) ICE Data Indices, LLC (「ICE Data」)、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、明示又は黙示のいずれかを問わず、インデックス、インデックス・データ、及びそれらに含まれ、関連し、又は派生する一切のデータを含めて、商品性又は特定の目的若しくは使用への適合性の保証を含む一切の表明及び保証を否認します。ICE Data、その関係会社又はそれらの第三者サプライヤーは、インデックス、インデックス・データ若しくはそれらの構成要素の適切性、正確性、適時性又は完全性について、なんら損害賠償又は責任を負わず、インデックス、インデックス・データ及びそれらの全ての構成要素は、現状有姿において提供されるものであり、自らの責任において使用いただくものです。ICE Data、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、アセットマネジメントOne(株)又はその製品若しくはサービスを後援、推薦又は推奨するものではありません。

米国ハイイールド債市場は、下落しました。

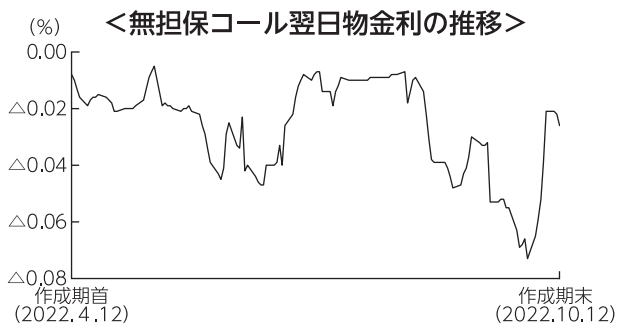
作成期初から2022年6月にかけては、F R B（米連邦準備制度理事会）による積極的な金融引締め継続や、インフレによる収益圧迫など米企業業績を巡る懸念の高まりから下落しました。その後は、急速な利上げに対する警戒感が後退したことなどから反発する場面もみられましたが、作成期末にかけては世界的な景気減速への懸念が一段と高まったことなどから下落しました。対米国債スプレッドは、拡大しました。

<（米ドル）対円為替レートの推移>



米ドルの対円相場は、上昇しました。

作成期初から2022年7月中旬にかけては、資源価格の高騰などを背景にインフレ加速に対する懸念が強まるなか、F R Bによる利上げペースの加速が意識されたことなどから上昇しました。その後、米景気減速への懸念などから下落する場面も見られましたが、作成期末にかけては、利上げペースの加速が一段と意識されたことなどから上昇しました。



国内短期金融市場では、無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。日本銀行が当座預金の残高の一部に△0.1%のマイナス金利を適用すること等を含む金融緩和政策を続けていることが要因です。

ポートフォリオについて

●当ファンド

「L A U Sハイイールドボンドファンド (米ドルクラス)」 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

●L A U Sハイイールドボンドファンド (米ドルクラス)

主として、企業のファンダメンタルズ分析などに基づくボトムアップアプローチにより銘柄選択を行いました。

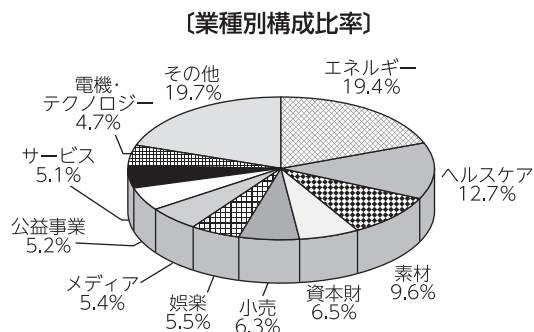
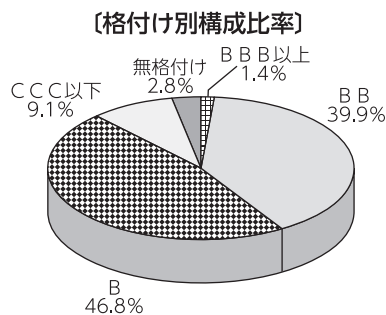
格付け別構成比率では、B格、B B格を中心としたポートフォリオを維持しました。

業種別構成比率では、エネルギー、ヘルスケア、素材セクターを高めとする方針を維持し、ヘルスケアや小売セクターなどの比率を引き上げましたが、素材や娯楽セクターなどの比率は前作成期末対比では引き下げました。

債券の組入比率は、当作成期中を通じて高位を維持しました。

保有資産に対する為替取引は行いませんでした。

<ポートフォリオの概要> 2022年10月11日現在



【組入上位10銘柄】

順位	銘柄名	利率	償還日	格付け	比率	業種
1	スプリント キャピタル	6.875%	2028/11/15	BB+	1.0%	通信
2	オキシデンタル・ペトロリアム	6.125%	2031/1/1	BB+	1.0%	エネルギー
3	CCOホールディングス	4.750%	2030/3/1	B+	0.7%	メディア
4	フォード モーター クレジット	2.900%	2029/2/10	BB	0.7%	自動車
5	センチーン	4.625%	2029/12/15	BB+	0.7%	ヘルスケア
6	メドライン・パワー	3.875%	2029/4/1	B+	0.7%	ヘルスケア
7	テネット・ヘルスケア	4.375%	2030/1/15	B+	0.5%	ヘルスケア
8	ウェンディーズ・インターナショナル	7.000%	2025/12/15	CCC	0.5%	小売
9	ナビエント	6.750%	2025/6/25	B+	0.5%	金融サービス
10	ジャズ・セキュリティーズ	4.375%	2029/1/15	BB-	0.5%	ヘルスケア

(注) 比率は、公社債等の評価総額に対する評価額の割合です。小数点第2位を四捨五入しています。なお、格付けはS & P、Moody'sのうち、低い方の格付けを採用しています（表記方法はS & Pに準拠）。

●MHAM短期金融資産マザーファンド

残存期間が1年以内の短期公社債などで運用を行いました。

【組入上位銘柄】

2022年4月12日現在

順位	銘柄	償還日	比率
1	122回 東武鉄道社債	2023/1/31	4.7%
2	190回 オリックス社債	2022/4/28	4.7%
3	192回 オリックス社債	2022/6/22	1.9%

2022年10月12日現在

順位	銘柄	償還日	比率
1	375回 中国電力社債	2023/4/25	7.3%
2	11回 東海旅客鉄道社債	2022/12/20	7.3%
3	27回 大和証券グループ本社社債	2023/4/25	5.2%
4	12回 東京電力パワーグリッド社債	2023/4/19	5.2%
5	122回 東武鉄道社債	2023/1/31	5.2%

(注) 比率は、MHAM短期金融資産マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

分配金

当作成期の収益分配金は、安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
	2022年4月13日 ～2022年5月12日	2022年5月13日 ～2022年6月13日	2022年6月14日 ～2022年7月12日	2022年7月13日 ～2022年8月12日	2022年8月13日 ～2022年9月12日	2022年9月13日 ～2022年10月12日
当期分配金（税引前）	35円	35円	35円	35円	35円	35円
対基準価額比率	0.54%	0.53%	0.54%	0.53%	0.51%	0.53%
当期の収益	29円	34円	29円	32円	34円	31円
当期の収益以外	5円	0円	5円	2円	0円	3円
翌期繰越分配対象額	399円	398円	393円	391円	390円	387円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

「L A U Sハイイールドボンドファンド（米ドルクラス）」受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

●L A U Sハイイールドボンドファンド（米ドルクラス）

米国ハイイールド債を主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を目指します。引き続き定性分析・定量分析に市場環境分析を加え、良質な資産と優良な経営陣を持つ企業を重点的に抽出し、的確な銘柄選択に努めることでリターンを追求して参ります。
なお、保有資産に対する為替取引は行いません。

●MHAM短期金融資産マザーファンド

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も短期公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第151期～第156期 (2022年4月13日 ～2022年10月12日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	32円	
(投信会社)	(13)	(0.193)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(18)	(0.275)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	32	0.485	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

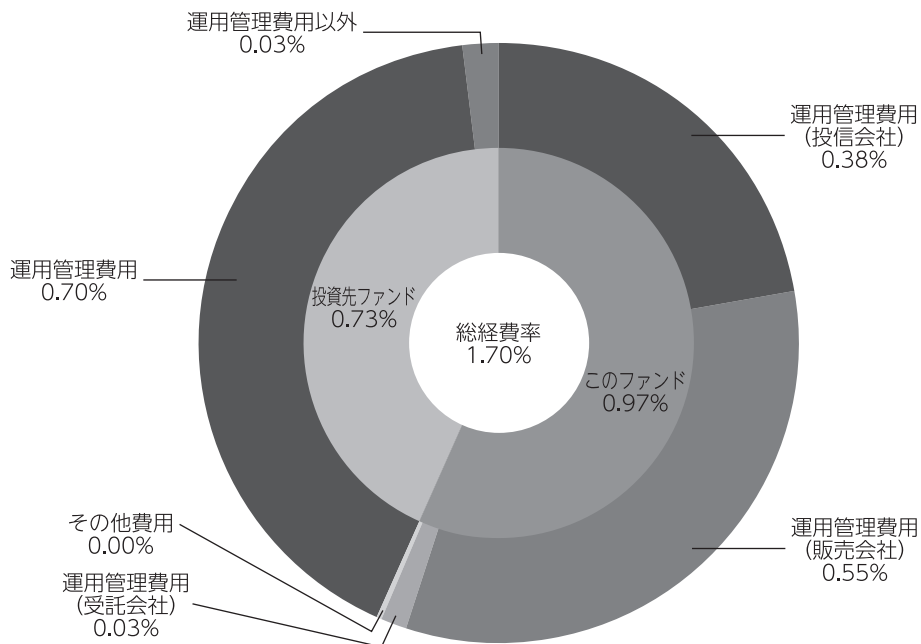
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



総経費率 (①+②+③)	1.70%
①このファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.70%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドは、源泉徴収税を含みません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2022年4月13日から2022年10月12日まで)

投資信託受益証券

		第 151 期 ~ 第 156 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 邦 建	L A U Sハイールドボンド ファンド(米ドルクラス)	千口	千円	千口	千円
		-	-	250,900.599	303,000
		(-)	(-)	(-)	(-)

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は合併、分割等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2022年4月13日から2022年10月12日まで)

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等 (2022年4月13日から2022年10月12日まで)

【米国ハイールド債券ファンド 米ドルコースにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
金 銭 信 託	百万円 0.004824	百万円 0.004824	% 100.0	百万円 0.004824	百万円 0.004824	% 100.0

【MHAM短期金融資産マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 25	百万円 5	% 19.9	百万円 -	百万円 -	% -
金 銭 信 託	0.006399	0.006399	100.0	0.006399	0.006399	100.0

平均保有割合 6.0%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券、みずほ信託銀行です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第25作成期末	第 26 作 成 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
L A U Sハイイールドボンドファンド (米ドルクラス)	千円 3,708,541.358	千円 3,457,640.759	千円 4,218,667	% 98.0
合 計	3,708,541.358	3,457,640.759	4,218,667	98.0

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第25作成期末	第 26 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
M H A M短期金融資産マザーファンド	千円 5,766	千円 5,766	千円 5,899

■投資信託財産の構成

2022年10月12日現在

項 目	第 26 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 4,218,667	% 97.3
M H A M 短 期 金 融 資 産 マ ザ ー フ ァ ン ド	5,899	0.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	109,170	2.5
投 資 信 託 財 産 総 額	4,333,738	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年5月12日)、 (2022年6月13日)、 (2022年7月12日)、 (2022年8月12日)、 (2022年9月12日)、 (2022年10月12日)現在

項 目	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末	第155期末	第156期末
(A) 資 産	4,486,435,663円	4,327,377,857円	4,242,457,620円	4,275,967,420円	4,412,891,400円	4,333,738,060円
コール・ローン等	105,885,002	75,737,171	68,406,221	93,431,046	64,887,128	109,170,987
投資信託受益証券(評価額)	4,374,651,078	4,245,741,679	4,168,152,392	4,176,637,367	4,342,105,265	4,218,667,490
MHAM短期金融資産 マザーファンド(評価額)	5,899,583	5,899,007	5,899,007	5,899,007	5,899,007	5,899,583
(B) 負 債	27,811,930	34,654,004	32,575,561	44,565,422	41,129,389	26,853,095
未払収益分配金	24,112,131	22,749,552	22,736,946	22,713,642	22,473,428	22,791,917
未払解約金	82,224	8,198,434	6,625,291	18,333,667	15,106,419	610,316
未払信託報酬	3,606,647	3,694,824	3,203,617	3,507,490	3,538,821	3,440,435
その他未払費用	10,928	11,194	9,707	10,623	10,721	10,427
(C) 純資産総額(A-B)	4,458,623,733	4,292,723,853	4,209,882,059	4,231,401,998	4,371,762,011	4,306,884,965
元 本	6,889,180,343	6,499,872,157	6,496,270,382	6,489,612,084	6,420,979,680	6,511,976,305
次期繰越損益金	△2,430,556,610	△2,207,148,304	△2,286,388,323	△2,258,210,086	△2,049,217,669	△2,205,091,340
(D) 受益権総口数	6,889,180,343口	6,499,872,157口	6,496,270,382口	6,489,612,084口	6,420,979,680口	6,511,976,305口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,472円	6,604円	6,480円	6,520円	6,809円	6,614円

(注) 第150期末における元本額は6,903,579,947円、当作成期間(第151期～第156期)中における追加設定元本額は326,289,872円、同解約元本額は717,893,514円です。

■損益の状況

[自 2022年4月13日 至 2022年5月12日] [自 2022年5月13日 至 2022年6月13日] [自 2022年6月14日 至 2022年7月12日] [自 2022年7月13日 至 2022年8月12日] [自 2022年8月13日 至 2022年9月12日] [自 2022年9月13日 至 2022年10月12日]

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
(A)配 当 等 収 益	23,877,266円	22,888,980円	22,674,133円	22,557,974円	22,481,770円	24,189,590円
受 取 配 当 金	23,878,219	22,890,783	22,675,509	22,558,516	22,483,604	24,192,529
受 取 利 息	1	3	131	35	1	117
支 払 利 息	△954	△1,806	△1,507	△577	△1,835	△3,056
(B)有価証券売買損益	△29,379,138	89,586,161	△76,661,460	29,023,663	188,446,430	△123,198,533
売 買 益	1,223,776	92,030,836	850,765	29,514,524	189,467,898	195,878
売 買 損	△30,602,914	△2,444,675	△77,512,225	△490,861	△1,021,468	△123,394,411
(C)信 託 報 酬 等	△3,617,575	△3,706,018	△3,213,324	△3,518,113	△3,549,542	△3,450,862
(D)当期損益金(A + B + C)	△9,119,447	108,769,123	△57,200,651	48,063,524	207,378,658	△102,459,805
(E)前期繰越損益金	△304,240,503	△313,895,768	△225,855,135	△299,200,205	△268,248,175	△82,666,612
(F)追加信託差損益金	△2,093,084,529	△1,979,272,107	△1,980,595,591	△1,984,359,763	△1,965,874,724	△1,997,173,006
(配当等相当額)	(279,020,365)	(259,650,731)	(258,938,356)	(255,513,491)	(251,144,086)	(254,451,274)
(売買損益相当額)	(△2,372,104,894)	(△2,238,922,838)	(△2,239,533,947)	(△2,239,873,254)	(△2,217,018,810)	(△2,251,624,280)
(G)合 計(D + E + F)	△2,406,444,479	△2,184,398,752	△2,263,651,377	△2,235,496,444	△2,026,744,241	△2,182,299,423
(H)収 益 分 配 金	△24,112,131	△22,749,552	△22,736,946	△22,713,642	△22,473,428	△22,791,917
次期繰越損益金(G + H)	△2,430,556,610	△2,207,148,304	△2,286,388,323	△2,258,210,086	△2,049,217,669	△2,205,091,340
追加信託差損益金	△2,096,936,945	△1,979,886,095	△1,983,870,946	△1,986,052,877	△1,966,243,822	△1,999,225,347
(配当等相当額)	(275,167,949)	(259,036,743)	(255,663,001)	(253,820,379)	(250,774,988)	(252,398,935)
(売買損益相当額)	(△2,372,104,894)	(△2,238,922,838)	(△2,239,533,947)	(△2,239,873,256)	(△2,217,018,810)	(△2,251,624,282)
繰 越 損 益 金	△333,619,665	△227,262,209	△302,517,377	△272,157,209	△82,973,847	△205,865,993

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
(a)経費控除後の配当等収益	20,259,715円	22,135,564円	19,461,591円	21,020,528円	22,104,330円	20,739,576円
(b)経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c)収 益 調 整 金	279,020,365	259,650,731	258,938,356	255,513,493	251,144,086	254,451,276
(d)分 配 準 備 積 立 金	0	0	0	0	0	0
(e)当期分配対象額(a + b + c + d)	299,280,080	281,786,295	278,399,947	276,534,021	273,248,416	275,190,852
(f)1万口当たり当期分配対象額	434.42	433.53	428.55	426.12	425.56	422.59
(g)分 配 金	24,112,131	22,749,552	22,736,946	22,713,642	22,473,428	22,791,917
(h)1万口当たり分配金	35	35	35	35	35	35

■分配金のお知らせ

決算期	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
1万口当たり分配金	35円	35円	35円	35円	35円	35円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

《お知らせ》

- 当ファンドが主要投資対象とする「L A U Sハイイールドボンドファンド」の関係法人である事務管理会社が以下のとおりに変更されました。

変更前：ミズホ・バンク（USA）

変更後：ルクセンブルグみずほ信託銀行

(2022年7月25日)

LA USハイイールドボンドファンド

円クラス/米ドルクラス/豪ドルクラス/南アフリカランドクラス/ブラジルリアルクラス

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン籍外国投資信託/オープン・エンド型	
信託期間	2159年12月31日まで	
投資対象	主として米ドル建てのハイイールド債を主要投資対象とします。 また、外国為替予約取引、為替先渡取引、直物為替先渡取引（NDF）等を活用します。（米ドルクラスを除きます。）	
投資態度	① 主として米ドル建てのハイイールド債に分散投資を行います。	
	② 投資するハイイールド債については、主としてBB+格（S & Pグローバル・レーティング）以下またはBaa1格（ムーディーズ・インベスターズ・サービス）以下の格付けが付与されている債券に投資を行います。	
	③ CCC+格（S & Pグローバル・レーティング）以下またはCaa1格（ムーディーズ・インベスターズ・サービス）以下の格付けが付与されている債券への投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の35%以内とします。	
	④ 一部格付けをもたない債券に投資する場合があります。なお、その投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以内とします。	
	⑤ 格付けについては、S & Pグローバル・レーティングまたはムーディーズ・インベスターズ・サービスの格付けを基準とし、同一銘柄で格付けが異なる場合はどちらか低い方の格付けを採用します。	
	⑥ 銘柄選定にあたっては、個別銘柄の徹底した信用リスク分析と銘柄分散を基本に行います。	
	⑦ 投資対象には米国以外の企業等が発行する債券等が含まれます。なお、債務証券、転換社債、優先証券などへ投資を行う場合があります。	
	⑧ 各外国投資信託（クラス）ごとに、保有資産に対し、原則として以下の為替管理を行います。 〈各外国投資信託（クラス）の為替管理（為替取引の手法）について〉	
	LA USハイイールドボンドファンド （円クラス）	保有資産に対し、対円での為替取引（保有資産が米ドル建て資産の場合は、米ドル売り、円買い）を行います。
	LA USハイイールドボンドファンド （米ドルクラス）	保有資産に対し、為替取引（為替管理）を行いません。
	LA USハイイールドボンドファンド （豪ドルクラス）	保有資産に対し、対豪ドルでの為替取引（保有資産が米ドル建て資産の場合は、実質的な米ドル売り、豪ドル買い）を行います。
	LA USハイイールドボンドファンド （南アフリカランドクラス）	保有資産に対し、対南アフリカランドでの為替取引（保有資産が米ドル建て資産の場合は、実質的な米ドル売り、南アフリカランド買い）を行います。
	LA USハイイールドボンドファンド （ブラジルリアルクラス）	保有資産に対し、対ブラジルリアルでの為替取引（保有資産が米ドル建て資産の場合は、実質的な米ドル売り、ブラジルリアル買い）を行います。
	⑨ 市況動向や外国投資信託の資金事情等によっては、上記のような運用ができない場合があります。	
決算日	年1回（12月31日）	
費用等	運用管理費用等：信託財産の純資産総額に対し年率0.695%程度 その他費用等：信託財産に関する租税/組入有効証券売買の際に発生する売買手数料/信託事務の処理に要する諸費用/信託財産の監査に要する費用/借入金の利息および立替金の利息/法律関係の費用およびファンド組成にかかる費用等 ※運用管理費用等には、年次による最低費用等が設定されているものがあります。	
受託会社	ファーストカリビアン・インターナショナル・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド	
運用会社	ロード・アベット・アンド・カンパニー エルエルシー	
為替管理会社	ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー	
事務管理会社	ルクセンブルグみずほ信託銀行	
保管会社	ミズホ・バンク（USA）	

「L A U Sハイイールドボンドファンド (円クラス)」、 「L A U Sハイイールドボンドファンド (米ドルクラス)」、 「L A U Sハイイールドボンドファンド (豪ドルクラス)」、 「L A U Sハイイールドボンドファンド (南アフリカランドクラス)」、 「L A U Sハイイールドボンドファンド (ブラジルリアルクラス)」は、「L A U Sハイイールドボンドファンド」を構成する個別クラスとなっております。

「L A U Sハイイールドボンドファンド」は、同ファンドの国籍において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、現地監査人による監査を受けております。

なお、以下は入手しうる直近の現地監査済み財務諸表の原文の一部を委託会社が和訳したものでありますが、あくまで参考和訳であり正確性を保証するものではありません。

(1) 包括利益計算書 (日本円で表示)

	2021年12月31日終了年度	
投資収益 / (損失)		
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる利息	¥	1,615,397,999
受取配当金		3,212,559
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる未実現評価益 / (評価損) の純変動		1,907,415,142
為替予約にかかる未実現評価損の純変動		(1,360,804,046)
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる純実現利益 / (損失)		2,168,569,131
為替予約にかかる純実現損失		(388,124,842)
その他収益		17,606,489
		<hr/>
純利益 / (損失)		3,963,272,432
		<hr/>
費用		
投資運用報酬		159,712,861
管理報酬		47,916,846
為替取引報酬		23,752,995
保管報酬		10,925,868
受託報酬		3,592,760
監査報酬		10,980,572
その他費用		336,047
		<hr/>
営業費用合計		257,217,949
		<hr/>
純営業利益 / (損失)		3,706,054,483
		<hr/>
金融費用		
ユニット保有者への分配		(2,546,001,465)
		<hr/>
税金		
源泉徴収税		(2,697,858)
		<hr/>
営業活動による純資産の純増加 / (減少)		1,157,355,160
		<hr/>
年度中における包括利益 / (損失) 合計	¥	1,157,355,160
		<hr/>

(2) ユニット保有者に帰属する純資産変動計算書 (日本円で表示)

	2021年12月31日終了年度
	ユニット保有者に帰属する純資産合計
2020年12月31日現在の残高	¥ 38,246,369,419
年度中に発行したユニット	27,000,000
年度中に償還したユニット	(8,281,000,000)
年度中におけるユニット保有者に帰属する営業活動及び包括損失合計による純資産の純増加	1,157,355,160
2021年12月31日現在の残高	¥ 31,149,724,579

(3) 為替予約

未決済為替予約の要約は以下の通りである。

2021年12月31日	満期日	未実現利益
クラスAUD 詳細		
買い AUD184,232,328、売り JPY15,232,297,017	2022年1月4日	¥ 191,975,903
買い AUD178,481,819、売り JPY14,456,638,997	2022年2月2日	483,981,574
買い USD130,950,205、売り JPY14,870,169,497	2022年1月4日	209,004,935
買い USD3,941,372、売り JPY448,277,768	2022年2月2日	5,479,275
クラスBRL 詳細		
買い BRL412,252,314、売り JPY8,403,107,718	2022年1月4日	112,931,352
買い BRL408,233,384、売り JPY8,070,104,498	2022年2月2日	302,111,247
買い USD73,074,587、売り JPY8,297,035,635	2022年1月4日	117,647,215
買い USD3,198,259、売り JPY364,412,585	2022年2月2日	3,792,352
クラスJPY 詳細		
買い USD33,642,976、売り JPY3,820,077,916	2022年1月4日	53,977,316
買い USD417,390、売り JPY47,739,391	2022年2月2日	313,382
クラスZAR 詳細		
買い ZAR1430145、売り JPY10,000,000	2022年1月4日	312,974
買い ZAR48,441,652、売り JPY346,657,810	2022年2月2日	1,167,900
買い USD3,381,314、売り JPY383,992,365	2022年1月4日	5,372,606
買い USD35,539、売り JPY4,068,102	2022年2月2日	23,438
		¥ 1,488,091,469

2021年12月31日

	満期日	未実現損失
クラスAUD 詳細		
買い USD1,100,973、売り JPY127,000,000	2022年1月4日	¥ (220,775)
買い JPY14,910,179,158、売り AUD184,232,328	2022年1月4日	(514,093,761)
買い JPY448,277,768、売り AUD5,504,307	2022年2月2日	(12,484,944)
買い JPY15,319,287,357、売り USD134,637,502	2022年1月4日	(184,494,502)
買い JPY71,001,498、売り USD617,754	2022年1月6日	(135,906)
買い JPY14,204,792,758、売り USD125,118,516	2022年2月2日	(199,684,801)
クラスBRL 詳細		
買い USD884,246、売り JPY102,000,000	2022年1月4日	(177,315)
買い JPY8,207,259,559、売り BRL412,252,314	2022年1月4日	(308,779,510)
買い JPY364,412,585、売り BRL18,280,900	2022年2月2日	(10,499,533)
買い JPY8,594,883,794、売り USD75,538,897	2022年1月4日	(103,574,019)
買い JPY98,241,220、売り USD854,755	2022年1月6日	(188,046)
買い JPY8,064,640,131、売り USD71,034,884	2022年2月2日	(113,369,206)
クラスJPY 詳細		
買い USD260,072、売り JPY30,000,000	2022年1月4日	(52,151)
買い JPY3,850,077,916、売り USD33,835,160	2022年1月4日	(46,107,464)
買い JPY18,739,391、売り USD163,043	2022年1月6日	(35,869)
買い JPY3,800,539,512、売り USD33,475,970	2022年2月2日	(53,437,294)
クラスUSD 詳細		
買い JPY23,382,430、売り USD203,691	2022年1月6日	(73,654)
クラスZAR 詳細		
買い ZAR52,374,561、売り JPY378,308,732	2022年1月4日	(628,383)
買い ZAR2,393,371、売り JPY17,332,796	2022年2月2日	(147,666)
買い JPY386,457,907、売り ZAR53,804,705	2022年1月4日	(1,535,417)
買い JPY4,068,102、売り ZAR568,193	2022年2月2日	(11,693)
買い JPY385,843,190、売り USD3,391,581	2022年1月4日	(4,704,097)
買い JPY2,903,856、売り USD25,265	2022年1月6日	(5,558)
買い JPY358,516,622、売り USD3,157,282	2022年2月2日	(4,970,745)
		<u>¥(1,559,412,309)</u>

(4) 組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
OCCIDENTAL PETROLEUM CORP SR UNSECURED 01/31 6.125	アメリカ・ドル	0.9%
NAVIENT CORP SR UNSECURED 06/25 6.75	アメリカ・ドル	0.9
SPRINT CAPITAL CORP COMPANY GUAR 11/28 6.875	アメリカ・ドル	0.8
FORD MOTOR CO SR UNSECURED 01/43 4.75	アメリカ・ドル	0.6
BUENA VISTA GAMING AUTHORITY SR SECURED 144A 04/23 13	アメリカ・ドル	0.6
FORD MOTOR CO SR UNSECURED 02/32 3.25	アメリカ・ドル	0.5
PEABODY ENERGY CORP SR SECURED 144A 03/25 6.375	アメリカ・ドル	0.5
MEG ENERGY CORP COMPANY GUAR 144A 02/27 7.125	アメリカ・ドル	0.5
AMERICAN AIRLINES INC SR SECURED 144A 07/25 11.75	アメリカ・ドル	0.5
MATADOR RESOURCES CO COMPANY GUAR 09/26 5.875	アメリカ・ドル	0.5
組入銘柄数	556銘柄	

(注1) 比率は、L A USハイイールドボンドファンドの投資有価証券の合計に対する割合です。

(注2) ロード・アベット・アンド・カンパニー エルエルシー (ロード・アベット社) 提供のデータ等を基にアセットマネジメントOneが作成したものです。

MHAM短期金融資産マザーファンド

運用報告書

第22期（決算日 2022年6月30日）

（計算期間 2021年7月1日～2022年6月30日）

MHAM短期金融資産マザーファンドの第22期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2000年7月28日から無期限です。
運用方針	わが国の短期公社債および短期金融商品を中心に投資を行い、わが国の無担保コール翌日物金利を指数化した収益率を上回る運用成果を目指します。
主要投資対象	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式および外貨建資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		無担保コール翌日物累積指数 (ベンチマーク)		無担保コール 翌日物金利	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	円	騰落率	騰落率	騰落率				
18期 (2018年7月2日)	10,225	0.0	10,170.21	△0.1	△0.074	92.3	—	200
19期 (2019年7月1日)	10,228	0.0	10,164.03	△0.1	△0.071	93.8	—	181
20期 (2020年6月30日)	10,230	0.0	10,159.77	△0.0	△0.068	91.8	—	177
21期 (2021年6月30日)	10,231	0.0	10,157.25	△0.0	△0.050	80.6	—	106
22期 (2022年6月30日)	10,229	△0.0	10,154.77	△0.0	△0.040	25.2	—	95

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 無担保コール翌日物累積指数は2000年7月27日を10,000とし、無担保コール翌日物金利の収益を指数化したものです（小数第3位四捨五入）（以下同じ）。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

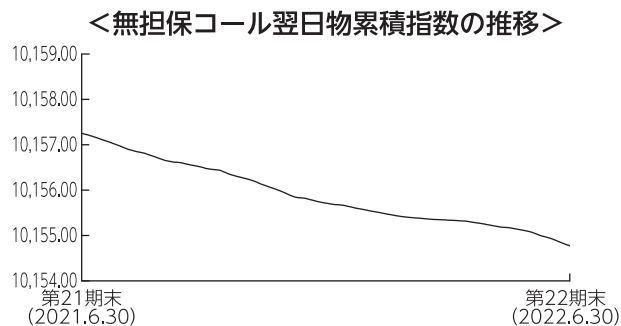
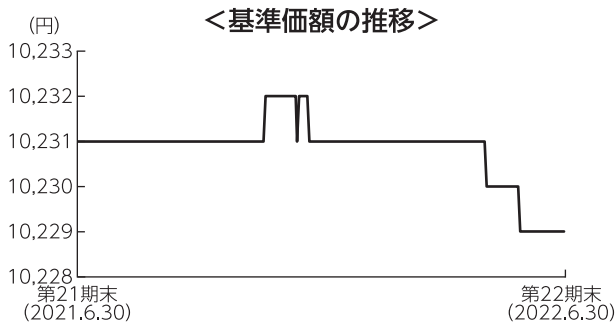
■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		無担保コール翌日物累積指数 (ベンチマーク)		無担保コール 翌日物金利	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2021年 6 月30日	円	%		%	%	%	%
	10,231	—	10,157.25	—	△0.050	80.6	—
7 月末	10,231	0.0	10,156.96	△0.0	△0.044	76.8	—
8 月末	10,231	0.0	10,156.66	△0.0	△0.036	70.3	—
9 月末	10,231	0.0	10,156.48	△0.0	△0.049	27.9	—
10月末	10,231	0.0	10,156.27	△0.0	△0.027	27.9	—
11月末	10,232	0.0	10,155.92	△0.0	△0.048	12.3	—
12月末	10,231	0.0	10,155.71	△0.0	△0.018	12.3	—
2022年 1 月末	10,231	0.0	10,155.55	△0.0	△0.021	12.1	—
2 月末	10,231	0.0	10,155.40	△0.0	△0.012	16.8	—
3 月末	10,231	0.0	10,155.34	△0.0	△0.020	11.2	—
4 月末	10,231	0.0	10,155.25	△0.0	△0.021	6.5	—
5 月末	10,229	△0.0	10,155.08	△0.0	△0.026	27.3	—
(期 末) 2022年 6 月30日	10,229	△0.0	10,154.77	△0.0	△0.040	25.2	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過 (2021年7月1日から2022年6月30日まで)



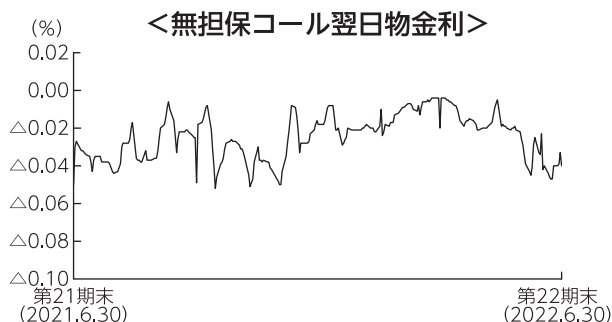
基準価額の推移

当ファンドの基準価額は1万口あたり10,229円となり、前期末の同10,231円から△0.02%下落しました。

基準価額の主な変動要因

保有債券の利息収入などのプラス要因はありましたが、市場金利上昇などによる保有債券の価格低下などがマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

投資環境



無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。日本銀行が当座預金の残高の一部に△0.1%のマイナス金利を適用すること等を含む金融緩和政策を続けていることが要因です。

ポートフォリオについて

前回運用報告書に記載した「今後の運用方針」に基づき、残存期間が1年以内の短期公社債などで運用を行いました。

【組入上位銘柄】

期首				
順位	銘柄	利率	償還日	比率
1	23年度6回 大阪市公募公債	1.071%	2021/9/16	25.5%
2	1回 政保地方公共団体金融機構債券 8年	0.576%	2021/9/24	18.9%
3	28年度1回 なじらね債	0.080%	2021/11/30	15.6%
4	139回 高速道路機構債	1.100%	2021/7/30	14.1%
5	23年度2回 京都市公募公債	1.049%	2021/8/26	6.5%

期末				
順位	銘柄	利率	償還日	比率
1	375回 中国電力社債	1.049%	2023/4/25	7.4%
2	11回 東海旅客鉄道社債	1.150%	2022/12/20	7.3%
3	12回 東京電力パワーグリッド社債	0.440%	2023/4/19	5.2%
4	122回 東武鉄道社債	0.150%	2023/1/31	5.2%

(注) 比率はMHAM短期金融資産マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

ベンチマークとの差異について

基準価額の騰落率はベンチマークと同程度となりました。保有債券の利息収入などのプラス要因がありました。債券価格の下落などのマイナス要因もあり、ベンチマークと同程度の利回りとなりました。

今後の運用方針

日本銀行は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。この間、無担保コール翌日物金利は引き続きマイナスの水準で推移すると考えます。この見通しのもと、今後も残存1年以内の短期公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2021年7月1日から2022年6月30日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	地方債証券	—	— (50,480)
	特殊債証券	—	— (35,000)
	社債証券	37,169	— (13,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年7月1日から2022年6月30日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決算期	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$ %
公社債	百万円 37	百万円 5	% 13.5	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普 通 社 債 券	24,000	24,097	25.2	—	—	—	25.2
合 計	24,000	24,097	25.2	—	—	—	25.2

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(普通社債券)	%	千円	千円	
1 1 回 東海旅客鉄道社債	1.1500	7,000	7,036	2022/12/20
1 2 2 回 東武鉄道社債	0.1500	5,000	5,001	2023/01/31
1 2 回 東京電力パワーグリッド社債	0.4400	5,000	5,005	2023/04/19
3 7 5 回 中国電力社債	1.0490	7,000	7,053	2023/04/25
合 計	—	24,000	24,097	—

■投資信託財産の構成

2022年6月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	24,097	25.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	71,645	74.8
投 資 信 託 財 産 総 額	95,742	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年6月30日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	95,742,762円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	71,604,574
公 社 債 (評価額)	24,097,540
未 収 利 息	25,712
前 払 費 用	14,936
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	95,742,762
元 本	93,597,106
次 期 繰 越 損 益 金	2,145,656
(D) 受 益 権 総 口 数	93,597,106口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,229円

(注1) 期首元本額	103,738,944円	通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 米ドルコース	米ドルコース
追加設定元本額	977,422円		7,087,354円
一部解約元本額	11,119,260円	通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 豪ドルコース	豪ドルコース
(注2) 期末における元本の内訳			1,769,440円
MHAMライフ ナビゲーション インカム	2,450,020円	通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) ブラジルリアルコース	ブラジルリアルコース
MHAMライフ ナビゲーション 2030	5,586,045円		4,971,163円
MHAMライフ ナビゲーション 2040	2,450,020円	インカムビルダー (毎月決算型) 限定為替ヘッジ	634,906円
MHAMライフ ナビゲーション 2050	2,453,499円	インカムビルダー (毎月決算型) 為替ヘッジなし	5,346,545円
米国厳選成長株集中投資ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	314,857円	インカムビルダー (年1回決算型) 限定為替ヘッジ	545,144円
米国厳選成長株集中投資ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	7,777,756円	インカムビルダー (年1回決算型) 為替ヘッジなし	5,864,317円
米国ハイイールド債券ファンド 円コース	4,409,727円	インカムビルダー (毎月決算型) 世界通貨分散コース	4,977,065円
米国ハイイールド債券ファンド 米ドルコース	5,766,944円	インカムビルダー (年1回決算型) 世界通貨分散コース	1,367,895円
米国ハイイールド債券ファンド 豪ドルコース	15,359,545円	期末元本合計	93,597,106円
米国ハイイールド債券ファンド 南アフリカランドコース	324,207円		
米国ハイイールド債券ファンド ブラジルリアルコース	10,606,394円		
通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 円コース	3,534,263円		

■損益の状況

当期 自2021年7月1日 至2022年6月30日

項	目	当	期
(A)	配当等収	益	158,855円
	受取利息	息	173,819
	支払利息	息	△14,964
(B)	有価証券売買損益	益	△173,123
	売買益	益	11,952
	売買損	損	△185,075
(C)	当期損益	金(A+B)	△14,268
(D)	前期繰越損益	金	2,393,086
(E)	解約差損益	金	△255,740
(F)	追加信託差損益	金	22,578
(G)	合計(C+D+E+F)		2,145,656
	次期繰越損益	金(G)	2,145,656

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。